

2009年5月14日

各位

平成21年度 道内新入社員意識調査〈要旨〉

北海道生産性本部

北海道生産性本部（会長 西村 求）では、平成17年度より(財)日本生産性本部と共同で新入社員を対象とした「若者意識アンケート」による調査を実施しており、平成21年度の調査結果については、全体分を4月22日付けで(財)日本生産性本部から公表しているところです。

当本部では、更に道内新入社員の意識傾向を把握するため、本調査データの中から道内分を抽出し、道外分と比較しながら「道内新入社員意識調査」を下記のとおり、取り纏めました。

つきましては、次世代を担う新入社員についての情報として、ご活用いただきたく、ご報告申し上げます。

記

1. 調査方法：

道内データについては、平成21年3～4月に実施した当本部主催の新入社員研修時および道内の調査依頼企業における新入社員研修時に「若者意識アンケート」を配布し、回収した975通について集計・分析した。（比較対象道外データ1,373通）
※各設問の未回答者分は削除してあります。

2. 添付書類：

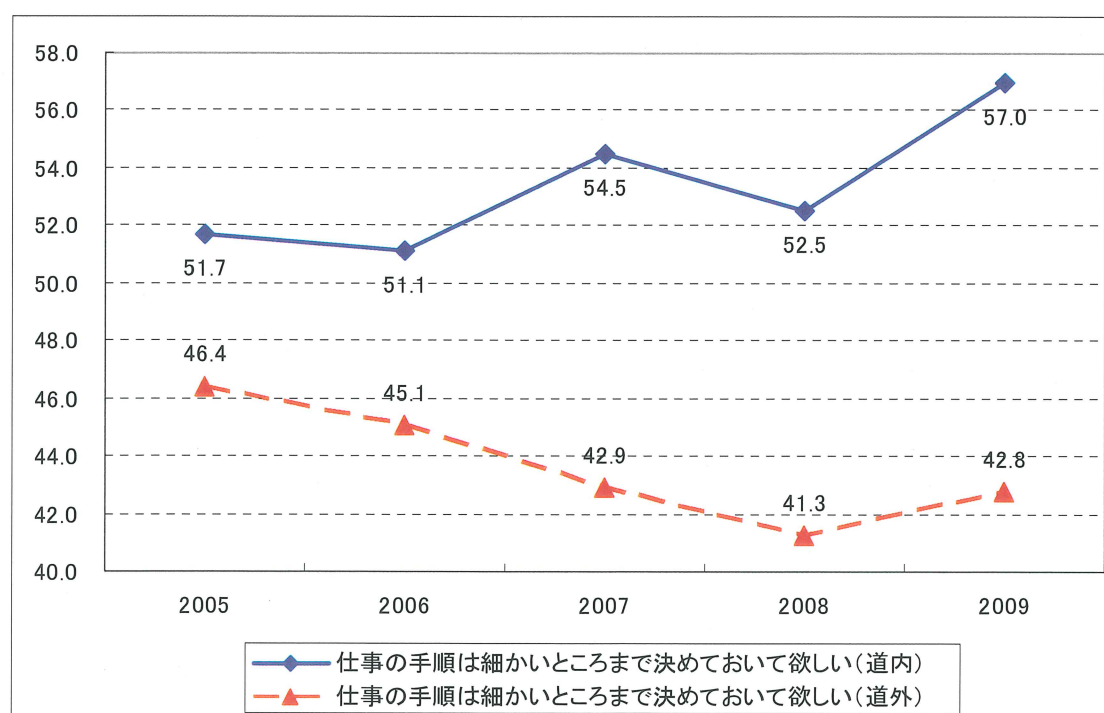
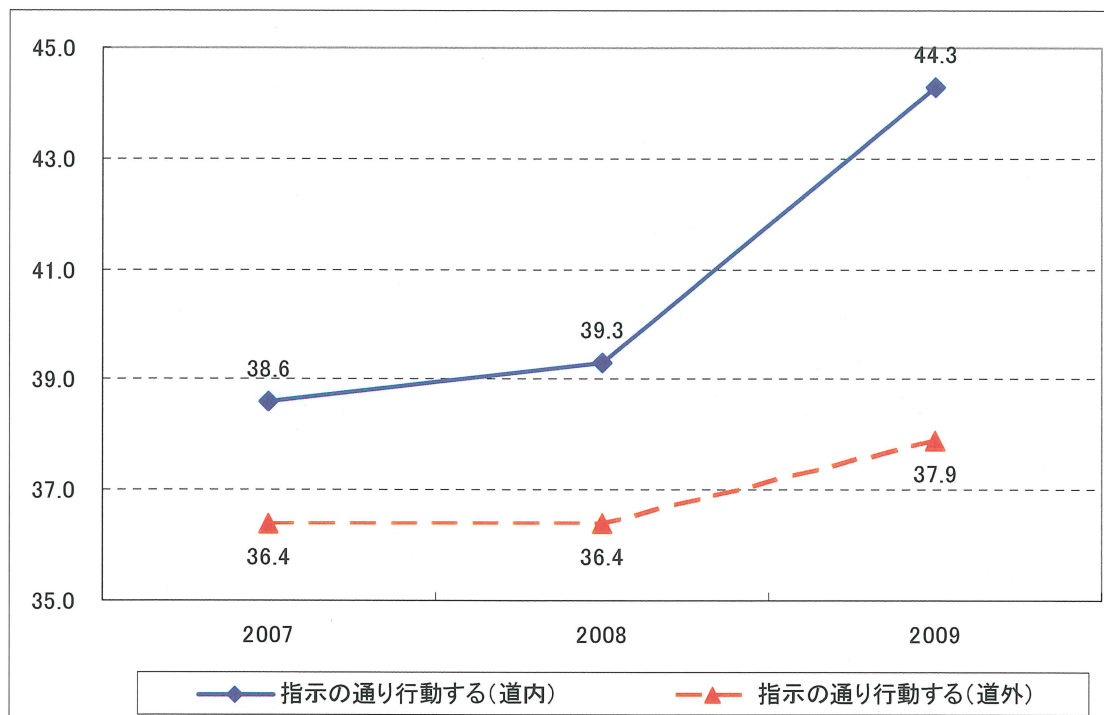
- (1) 調査結果要旨（本紙含め6ページ）：主だった調査結果を纏めております。
- (2) 集計表（7ページ）：全ての設問データを掲載しております。
- (3) 属性表（1ページ）：調査対象者の属性（性別・年齢など）を掲載しております。

【お問い合わせ先】北海道生産性本部（担当：澤田）

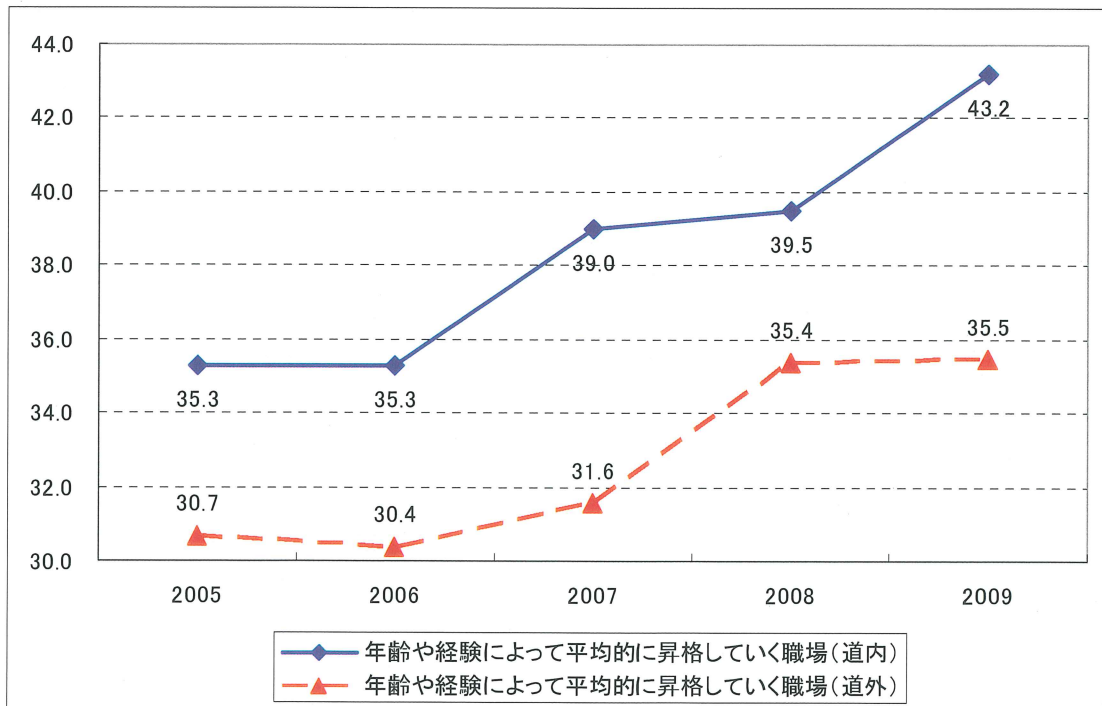
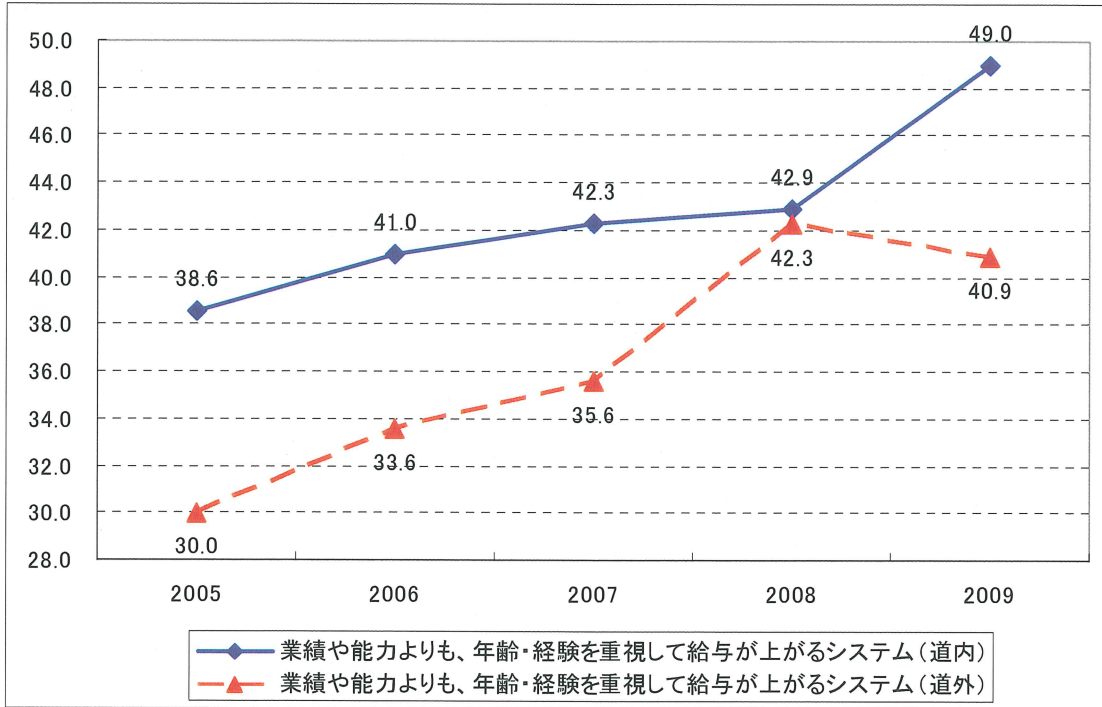
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター6階
TEL 011-241-8591 FAX 011-241-3898

3. 調査結果要旨：

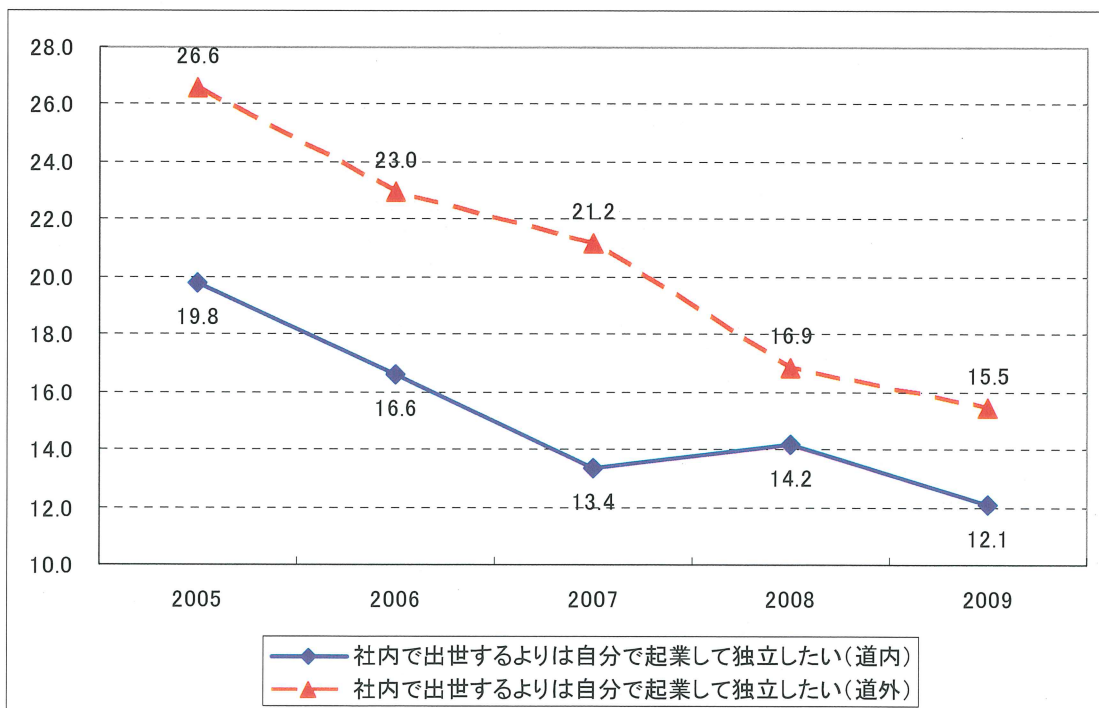
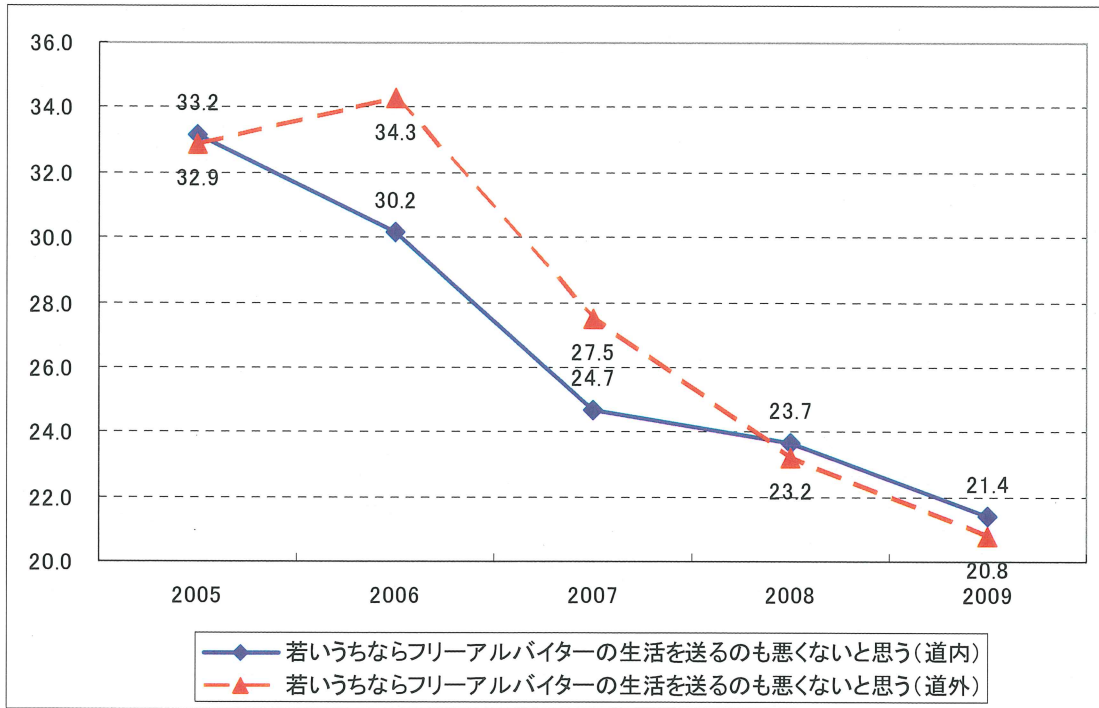
(1) 仕事の取り組み意識として、「上司から会社のためになるが自分の良心に反する手段で仕事を進めるよう指示された際、指示通り行動する」との回答は2年連続で増加し、道内 44.3% (道外 37.9%)、「仕事の手順は細かいところまで決めておいて欲しい」との回答は道内 57.0% (道外 42.8%) となり、いずれも道内については過去最高値を更新し、道外との差についても最大となった。〈Q5 (e), Q7 (b)〉



(2) 給与体系について「業績や能力よりも年齢・経験を重視して給与が上がるシステム」を希望するとの回答は4年連続で増加し、道内 49.0% (道外 40.9%)、昇格について「年齢や経験によって平均的に昇格していく職場」を希望するとの回答は3年連続で増加し、道内 43.2% (道外 35.5%) となり、いずれも道内については過去最大値を更新した。〈Q6(c), (g)〉



(3) キャリアプランに関して、「若いうちならフリーターの生活も悪くない」とする回答は4年連続で減少し、道内 21.4% (道外 20.8%)、「将来は社内で出世するより自分で起業したい」とする回答は道内 12.1% (道外 15.5) となり、いずれも過去最低値を更新した。〈Q7 (e), (i)〉



(4) 転職に関して、「転職しないにこしたことはない」とする回答は道内 38.9% (道外 31.6%)、「ひとつの会社に最低6年以上勤めるべき」とする回答は道内 28.1% (道外 20.4%)、「今の会社に一生勤めようと思っている」とする回答は道内 66.3% (道外 47.3%) となり、それぞれ4年連続の増加で過去最高値を更新し、道外との差についても最大となった。また、「きっかけ、チャンスがあれば転職しても良い」とする回答は3年連続で減少し、道内 19.3% (道外 34.0%) となり、過去最低値を更新した。〈Q9 (a), (b), (c)〉

